

平成26年度 上越市教育課程部 活動報告

部長 親跡 久樹

1 研究主題

特色ある学校づくりを目指す教育課程の編成と実施

2 研究の概要

本部会ではこれまで学習指導要領改定に伴い、上越市教育委員会が進める上越カリキュラムの活用と学習指導要領の趣旨の実現を図り、特色ある教育課程を編成していくために実践校に学ぶ機会を設けてきた。本年度は、その継続を図り、上越カリキュラムモデル校として実践を積んでいる2校の取組から学び、自校の教育課程の改善に役立てることを意図している。いずれも全校体制で、自校の児童生徒の実態から教育課程編成に工夫・改善を加え、成果をあげている学校である。実践発表をとおして、視覚的カリキュラムの活用や職員の意識転換等、教育課程の改善について学ぶことができた。

3 研究の実践

- ・第1回小委員会 8月 7日 戸野目小学校 組織作り、テーマ設定
- ・教育課程部会研修会 11月12日 希望館 実践発表・質疑

(1) 実践発表1 上越市立豊原小学校

「人権教育、同和教育を基盤とした開発的生徒指導一心の学習会を基軸にした取組一」

- 生徒指導観の転換
 - ・生徒指導部による問題の洗い出し
 - ・「心の学習会」の立ち上げ→既存の教育活動を人権教育という共通の視点から整理し、「心の学習会」として教育課程に位置付けた。
- 教育課程の改善と進化
 - ・グランドデザインの改善
 - ・活動の見える化と進化
- 焦点化された取組と実践の進化
 - 「心の学習会」単独のカリキュラム表の作成
 - ・視覚的カリキュラム表に「心の学習会」を位置付け、他の教育活動との関連を明確にする。

(2) 実践発表2 上越市立柿崎中学校「学び合う授業のカリキュラム開発」

- Web配信集計システム検証協力校として
 - ・Web問題への取組を変える。「意識・思考・スピード」をテーマとする。
 - ・解法に授業の1校時を使うテスト方式 ・全職員によるテスト監督
 - ・過去問題を家庭学習課題に活用し、結果は全職員で回覧する。
- 授業改善への着手
研究テーマ「学び合う授業の創造 確かな学力の向上を目指して」
 - ・「教えて考えさせる指導」の推進
 - ・「学力向上タイム」の設定
 - ・生徒の手による自治活動の活性化
- 学び合う授業の推進 柿中スタイルの確立
 - 学び合い1（教え合い）・学び合い2（交流）・学び合い3（検討）を授業に位置付ける。

4 研究の成果と課題

今年度は、特色ある教育課程の編成の視点を学ぶという趣旨のもと、実践発表・質疑等を行うことができた。実践発表からは、教育課程編成の視点として、育みたい資質や能力を明確にして教育活動や各教科の取組を整理し改善を加えること、また、「教育課題の明確化」、「共有化」を重視し、全職員による児童生徒の実態把握や保護者・学校運営協議員への周知など多くの方策を学ぶことができた。質疑をとおして、自校の教育課程改善につなげようとする意欲がうかがえたことも成果といえる。今後、各校の特色を生かした教育課程を編成していくために、カリキュラムマネジメント力の一層の向上に資するよう本部会の内容について検討を加えていく。